

## 平成 27 年度第 2 回 学生モニター会議開催報告

開催日時：平成 28 年 2 月 17 日（水）15：00～17：00

開催場所：伊都キャンパス センター1号館 4階 1409 教室

参加者：学生 10 名（学部生 8 名、大学院生 2 名）、教職員 13 名 計 23 名（別紙名簿参照）

### 学生モニター会議の目的：

九州大学における教育、学生生活相談、学生支援等の実施にあたり、全学的な観点に立った学生の建設的な意見、要望等を参考とし、改善につなげる。

### テーマ：「e ポートフォリオ」の利活用について考える

平成 26 年度学部入学生から「アクティブ・ラーナー」育成を教育目標に掲げ、基幹教育が開始された。アクティブ・ラーナーとして、生涯にわたり自立的に学ぶ姿勢を身につける過程においては、「何を学習したか」ではなく、「いかに学習したか」が重視される。また、その学びの過程を振り返り、これまでの行動の改善点について熟考し、自ら計画を立てて実行することも重要である。

このような目的のために、現在、基幹教育の一部の講義では、e ポートフォリオが導入されている。今回のモニター会議では、e ポートフォリオについて説明を行い、所属が様々であるモニター学生間でのディスカッションを経て、本学学生の全体的な考えやアイデアを把握し、今後の運用策に資するものとした。

### 会議内容：

※参加学生には前もって事前課題を与え、作成・提出してもらい、当日の配付資料とした。

学生を 3 つのグループに分け、それぞれのグループにはファシリテーターとして教員を配置した。

1. 趣旨説明
2. グループ毎に自己紹介を含め、事前課題について話し合い。
3. e ポートフォリオについて説明
4. グループディスカッション
5. 発表用資料（パワーポイント）作成
6. 発表（1 グループ 6 分× 3 分質疑、1 分交代） 3 グループ
7. まとめ、総括



### 学生からの意見：活発な意見が出された。

- ・ 学生同士の情報共有は LINE でも行われているので、e ポートフォリオは SNS との差別化を図った方が良い。
- ・ e ポートフォリオの使い方がわかりづらい。どこまで、誰に、見られているか不安。
- ・ 大学入学で PC を使い始めたばかりのときに e ポートフォリオを使うのは、見られるための、見せるための記録になってしまっている。まだ抵抗がある。
- ・ 現在のシステムは改善が必要と思う。もっと書きやすく、見やすく、システムは 3 つもいらないから 1 つに。サーバが重い。
- ・ 最初は嫌いでも、やってみればおもしろい。

- ・サイトのデザインが散漫だ。検索機能を強化してほしい。
- ・気軽に教員や他の学生と関わりを持てる、質問・要望を伝えられることがeポートフォリオの一番の良さ。
- ・eポートフォリオは自分の将来には必要ないと考えがちだが、人間性を広げるためでもある。
- ・eポートフォリオを自主的に使っていくためには、2年次からの専門的な科目の学習での利用が適しているのでは。
- ・「こういう疑問を持って調べたらこうだった。」との記録を残すことはアクティブ・ラーナーに繋がるはず。

## まとめ：

今回の会議参加者は、既に授業でeポートフォリオを経験している学部低年次生と、未経験の3年次以上の学部生・大学院生が混在していたため、多様な意見を聞くことができた。

学生、特に学部1年生は高校までの紙媒体の記録方法に慣れているため、電子媒体での記録・情報共有にまだ戸惑いが見えた。ファシリテーターからも「学生にやらされ感があるが、まず自分のために書いて振り返りをしてほしい。」とのコメントがあった。

学生からは「閲覧や書き込みを匿名でできないか。」「ネット上で情報を共有できる広場を作してほしい。」との意見も出たが、ファシリテーターから「学生が一番集まるのは『単位を取るための情報』となることが予想できる。それでいいのか?」との意見があった。

実際にeポートフォリオを使ってみてそのおもしろさを実感した学生、まだ残る抵抗感を吐露した学生など率直な意見が多数あったことは今後の展開に有意義なものであったといえる。

eポートフォリオの取り組みは、2014年度から始まったばかりである。eポートフォリオを記録し、自分の学びのプロセスを振り返り、その内省を通じて、自分をモニタリングするスキル、及びメタ認知スキルを育成することは、生涯を通じて積極的に学ぶ姿勢を見つける「アクティブ・ラーナー」として非常に重要なスキルであり、このような取り組みは、大学教育において、ますます、重要になるであろう。今後は、今回のような機会を有効に活用して、学生や教職員からの意見を集約しつつ、より良いものになるよう、改善を重ねていく必要がある。



## 平成27年度第2回 学生モニター会議 参加者

### ○学生モニター、協力学生、理事、教員

#### Group1

| 所属      | 学年   | 氏名     |
|---------|------|--------|
| 法学部     | 学部1年 | 佐藤 花実  |
| 理学部     | 学部1年 | 大前 陸人  |
| 医学部保健学科 | 学部2年 | 山村 航太郎 |

| 所属・役職    | 氏名    |
|----------|-------|
| 理事       | 丸野 俊一 |
| 基幹教育院・助教 | 大久保文哉 |

#### Group2

| 所属       | 学年     | 氏名    |
|----------|--------|-------|
| 文学部      | 学部4年   | 川邊 聡史 |
| 医学部保健学科  | 学部1年   | 田邊 真優 |
| 教育学部     | 学部1年   | 洪賢杓   |
| 大学院芸術工学府 | 博士課程3年 | 森本 智志 |

| 所属・役職     | 氏名    |
|-----------|-------|
| 基幹教育院・准教授 | 山田 政寛 |

#### Group3

| 所属      | 学年     | 氏名    |
|---------|--------|-------|
| 理学部     | 学部1年   | 川嶋 啓太 |
| 工学部     | 学部1年   | 折橋 佳奈 |
| 大学院数理学府 | 博士課程2年 | 榎本 翔太 |

| 所属・役職     | 氏名   |
|-----------|------|
| 基幹教育院・准教授 | 岡本 剛 |

### ○コーディネーター

| 所属・役職    | 氏名    |
|----------|-------|
| 基幹教育院・教授 | 緒方 広明 |

### ○その他

| 所属・役職        | 氏名    |
|--------------|-------|
| 学務部次長        | 中山 高志 |
| 学務部基幹教育課長    | 川原 弘一 |
| 学務部基幹教育課長補佐  | 田中紀代美 |
| 学務部・基幹教育課    | 福里 和芳 |
| 学務部学務企画課専門職員 | 井手添 彰 |
| 学務部学務企画課     | 野口 文子 |
| 学務部学務企画課     | 山崎 雅行 |
| 学務部学務企画課     | 山村 未来 |